

市政について  
問う！

# 一般質問

## 「代表質問」

第十六回（二月）定例会では、市長の平成三十一年度施政方針に対する代表質問が行われ、七つの会派から質問がありました。

※代表質問は「一括質問一括答弁方式」で実施しています。



住民沼津

久保田 吉光

**問** 本市と富士市との広域連携に向けた具体的な展望は。

**答 市長**／本市西部地区と富士市東部地区において、インフラや歴史・文化などのポテンシャルを生かし、発展を図ることは両市の活力あるまちづくりには大きく寄与するものと考えます。平成三十年には富士市長と会談を行い、行政の各分野における連携を進め、両市の繁栄につなげていくことなどを確認した。現在は、事務担当者間において検討を行っており、市長同士の二度目の会談を早い時期に開催したいと考えている。今後も協議を継続しつつ広域連携の強化に

努めていきたいと考えている。

**問** 小中学校の普通教室等へのエアコン整備を計画的に行うための市長の考えは。

**答 市長**／平成三十一年度は、全小中学校、静浦中学校、戸田中学校の教室合計三百五十八室の整備を予定するとともに、全中学校の整備に向けて実施設計を行う予定である。児童生徒の健康や生命を守るために一日でも早くエアコンを整備することは大変重要であると考えており、平成三十二年度までに全ての小中学校に整備していくことを目指し、教育委員会とともに取り組んでいく。

### 市長が目指す「誇り高い、元気なまち沼津」とは

**問** 新貨物ターミナルの用地取得については、土地収用法に基づく手続を進めているが、地権者を犠牲にしても進める鉄道高架事業が沼津の誇り高いまちづくりにつながる理由は。

**答 市長**／本事業は、本市全体の交通の円滑化に寄与するとともに、本市のすぐれたポテンシャルを十分に発揮でき、本市全体の経済活動の活性化に効果があると考えていることから、「誇り高い、元気なまち沼津」につながるものと捉えている。新貨物ターミナルの用地取得については、これ以上事業をおくらせることはできないとの考えから土地収用法の手

続を進めているが、今後の交渉においても地権者の思いを理解しながら誠意を持って取り組んでいく。

**問** 静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業について、富士見町住民との懇談に対する認識は。

**答 市長**／本事業は本市にとって大変重要な事業と認識しており、鉄道高架事業とともに早期完了に向けて取り組んでいる。市長就任後は懇談の機会を持っていないが、事業推進に当たっては、富士見町住民の理解と協力がなければ進めることはできないと認識しており、今後、機会を見て対応していきたいと考えている。

### 新貨物ターミナルを原西部地区に移設する意義は

**問** 新貨物ターミナルを原西部地区に移設する意義は。

**答 市長**／現在の沼津貨物駅が担ってきた機能を維持、発展していくため、周辺の土地利用等との整合及び経済性などの観点から比較、評価した結果、本地区が最適であると判断し、都市計画決定されたものである。今後、広域交通アクセスの飛躍的な向上が期待される本地区は、新貨物ターミナルの整備に合わせ、物流業務等の進出が期待され、地域の発展に寄与していくものと考えている。

**問** 本市西部地域の発展に向けた具体的な取り組みは。

**答 市長**／本地域については、東駿河湾環状道路の西区間延伸など、交通の結節点としてのポテンシャルが高まっていることから、物流拠点化を考えている。また、都市基盤整備を進めつつ、美しい景観を保全、活用したまちづくりを進めていく。今後は、平成三十年度に開催したぬまづ地域デザインワークショップの提案や住民等の意見、土地利用の課題等を踏まえながら、本地域の活性化に資する取り組みを検討していく。



▲地域の特性を生かしたまちづくりについて検討したぬまづ地域デザインワークショップ

未来の風

殿岡 修

日本共産党沼津市議員

川口 三男